

# 環境負荷低減に係る意向確認書

記載例

氏名 静岡 太郎

1. あなたの農業における経営作目(複数ある場合はすべて作目)にチェック  してください。

- 茶  果樹(露地)  果樹(施設)  野菜(露地)  野菜(施設:土耕栽培)  野菜(施設:養液栽培)  
 花き(施設:土耕栽培)  花き(施設:養液栽培)  水稻  わさび  畜産  その他( )

2. 経営する作目の環境負荷低減への取組について、「今後新たに実践または強化する取組内容」で該当するものにチェック  してください。

私は、現在エコファーマー認定を受けています。(現在、エコファーマーである方はチェック )

※申請日現在、エコファーマー(旧「持続農業法」に基づく持続性の高い農業生産方式の導入計画認定者)である方は、以下の確認表へのチェックは不要です。

種別	取組項目	取組内容	補足説明	今後新たに実践または強化する取組内容
農産	基本管理	土壌診断に基づく施肥	土壌中の養分状態を把握した施肥	<input checked="" type="checkbox"/>
		生育診断に基づく施肥	作物の生育状況を把握した施肥	<input type="checkbox"/>
	土づくり	堆肥等有機質資材の施用	畜産堆肥、剪定枝、山草などの活用	<input type="checkbox"/>
		緑肥作物の利用	栽培した緑肥作物の農地へのすき込み	<input type="checkbox"/>
	化学肥料低減	局所施肥の実施	根周辺など一部に集中した施肥	<input type="checkbox"/>
		肥効調節型肥料施用	肥効期間が長い緩効性肥料の活用	<input type="checkbox"/>
		有機質肥料の施用	有機質を原料とする肥料の活用	<input type="checkbox"/>
		施肥量・肥料銘柄の改善	これまでの施肥設計・体系の見直し	<input type="checkbox"/>
	化学農薬低減	生物農薬の利用	天敵となる昆虫・細菌などの活用	<input checked="" type="checkbox"/>
		フェロモン剤の利用	昆虫の誘引・攪乱作用を有する資材の活用	<input type="checkbox"/>
		被覆栽培の実施	土壌表面を覆うマルチ資材の活用	<input type="checkbox"/>
		機械除草の実施	草刈機などの機械的な駆除	<input type="checkbox"/>
		抵抗性品種・台木の利用	病害に強い品種・台木への切り替え	<input type="checkbox"/>
		熱利用土壌消毒の実施	熱を加えて土壌中の有害動植物を駆除	<input type="checkbox"/>
温室効果ガス(GHG)の排出削減	燃油使用量の低減	ヒートポンプなど省エネ機器の利用など	<input type="checkbox"/>	
	中干し期間の延長(水田)	一週間程度の中干し期間の延長	<input type="checkbox"/>	
	GHG発生抑制飼料の利用	脂肪酸カルシウム飼料などの給与	<input type="checkbox"/>	
畜産	輸入飼料の低減	食品残渣の利用	未利用資材などの活用	<input type="checkbox"/>
		飼料設計の改善	これまでの飼料設計の見直し	<input type="checkbox"/>
	畜産物製造	完熟堆肥、堆肥のペレット化など	<input type="checkbox"/>	
	畜産物処理	液肥化・浄化・メタン発酵処理など	<input type="checkbox"/>	
適正な飼料の活用	ストレス・事故率の低減、暑熱対策、ICT機器の活用など	<input type="checkbox"/>		
その他( )			<input type="checkbox"/>	

必ずチェックをつけてください!

★「今後新たに実践または強化する取組内容」を1つ以上チェックしてください。

私は、今後の農業経営において、以上の取組を通じて環境負荷低減活動を実践していきます。

※「みどりの食料システム法」に基づく『環境負荷低減事業活動実施計画』の認定推進に際し、静岡市は本資料を活用させていただきます。